

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【公表番号】特表2014-511083(P2014-511083A)

【公表日】平成26年5月1日(2014.5.1)

【年通号数】公開・登録公報2014-022

【出願番号】特願2014-502795(P2014-502795)

【国際特許分類】

H 04 W 72/12 (2009.01)

H 04 W 88/06 (2009.01)

H 04 W 84/14 (2009.01)

H 04 W 16/14 (2009.01)

【F I】

H 04 W 72/12 150

H 04 W 88/06

H 04 W 84/14

H 04 W 16/14

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年1月20日(2015.1.20)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

装置による無線通信の方法であって、

エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第1のラジオ・アクセス技術(RAT)でアクティブに通信することと、

前記エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第2のRATでアクティブに通信することと、

遠隔デバイスに対して、送信を一時的に停止するように指示するメッセージを、前記第2のRATで送信することと、前記メッセージは、前記遠隔デバイスからの送信が、前記エンド・トゥ・エンド通信リンクで、前記第1のRATのアップリンク送信中に受信されることを阻止するように計算された時間において送信される、

前記メッセージは、前記装置が、前記第2のRATで前記遠隔デバイスからの通信を受信することができない場合、前記遠隔デバイスに示すためのCTS-t0-Selfメッセージを備え、前記CTS-t0-Selfメッセージが送信される時間は、前記第1のRATのアップリンク送信のガード時間前である、を備える方法。

【請求項2】

前記送信することは、前記第1のRATのアップリンク送信と前記第2のRATのダウンリンク通信との間の潜在的な干渉を示すインジケーションに少なくとも部分的に基づく、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1のRATにおけるアクティブな通信と前記第2のRATにおけるアクティブな通信とは、アクセス・ポイント(AP)モードにおいて動作するユーザ機器による、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

無線通信のための装置であって、  
エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第1のラジオ・アクセス技術（RAT）でアクティブに通信する手段と、

前記エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第2のRATでアクティブに通信する手段と、

遠隔デバイスに対して、送信を一時的に停止するように指示するメッセージを、前記第2のRATで送信する手段と、前記メッセージは、前記遠隔デバイスからの送信が、前記エンド・トゥ・エンド通信リンクで、前記第1のRATのアップリンク送信中に受信されることを阻止するように計算された時間において送信される、

前記メッセージは、前記装置が、前記第2のRATで前記遠隔デバイスからの通信を受信することができない場合、前記遠隔デバイスに示すためのCTS-to-Selfメッセージを備え、前記CTS-to-Selfメッセージが送信される時間は、前記第1のRATのアップリンク送信のガード時間前である、

を備える装置。

#### 【請求項5】

前記送信する手段は、前記第1のRATのアップリンク送信と前記第2のRATのダウンリンク通信との間の潜在的な干渉を示すインジケーションに少なくとも部分的に基づく、請求項4に記載の装置。

#### 【請求項6】

前記第1のRATにおけるアクティブな通信と前記第2のRATにおけるアクティブな通信とは、アクセス・ポイント（AP）モードにおいて動作するユーザ機器による、請求項4に記載の装置。

#### 【請求項7】

無線通信のための装置のために構成された、格納されたプログラム・コードを有するコンピュータ読取可能な記憶媒体であって、前記プログラム・コードは、

エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第1のラジオ・アクセス技術（RAT）でアクティブに通信するためのプログラム・コードと、

前記エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第2のRATでアクティブに通信するためのプログラム・コードと、

遠隔デバイスに対して、送信を一時的に停止するように指示するメッセージを、前記第2のRATで送信するためのプログラム・コードと、前記メッセージは、前記遠隔デバイスからの送信が、前記エンド・トゥ・エンド通信リンクで、前記第1のRATのアップリンク送信中に受信されることを阻止するように計算された時間において送信される、

前記メッセージは、前記装置が、前記第2のRATで前記遠隔デバイスからの通信を受信することができない場合、前記遠隔デバイスに示すためのCTS-to-Selfメッセージを備え、前記CTS-to-Selfメッセージが送信される時間は、前記第1のRATのアップリンク送信のガード時間前である、

を備える、コンピュータ読取可能な記憶媒体。

#### 【請求項8】

前記送信するためのプログラム・コードは、前記第1のRATのアップリンク送信と前記第2のRATのダウンリンク通信との間の潜在的な干渉を示すインジケーションに少なくとも部分的に基づく、請求項7に記載のコンピュータ読取可能な記憶媒体。

#### 【請求項9】

前記第1のRATにおけるアクティブな通信と前記第2のRATにおけるアクティブな通信とは、アクセス・ポイント（AP）モードにおいて動作するユーザ機器による、請求項7に記載のコンピュータ読取可能な記憶媒体。

#### 【請求項10】

無線通信のための装置であって、

メモリと、

前記メモリに接続された少なくとも1つのプロセッサとを備え、

前記少なくとも1つのプロセッサは、

エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第1のラジオ・アクセス技術(RAT)でアクティブに通信し、

前記エンド・トゥ・エンド通信リンクの一部として、第2のRATでアクティブに通信し、

遠隔デバイスに対して、送信を一時的に停止するように指示するメッセージを、前記第2のRATで送信し、前記メッセージは、前記遠隔デバイスからの送信が、前記エンド・トゥ・エンド通信リンクで、前記第1のRATのアップリンク送信中に受信されることを阻止するように計算された時間において送信される、

前記メッセージは、前記装置が、前記第2のRATで前記遠隔デバイスからの通信を受信することができない場合、前記遠隔デバイスに示すためのCTS-to-Selfメッセージを備え、前記CTS-to-Selfメッセージが送信される時間は、前記第1のRATのアップリンク送信のガード時間前である、

ように構成された、装置。

#### 【請求項11】

前記送信することは、前記第1のRATのアップリンク送信と前記第2のRATのダウンリンク通信との間の潜在的な干渉を示すインジケーションに少なくとも部分的に基づく、請求項10に記載の装置。

#### 【請求項12】

前記第1のRATにおけるアクティブな通信と前記第2のRATにおけるアクティブな通信とは、アクセス・ポイント(AP)モードにおいて動作するユーザ機器による、請求項10に記載の装置。

#### 【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0074

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

#### 【0074】

LTE送信通信とのオーバラップを回避するようにWLAN受信通信を揃える(align)ために、CTS-to-Selfと呼ばれるIEEE 802.11機能が使用される。CTS(clear-to-send)-to-Self信号は、アクセス・ポイントが遠隔局からの通信を受信できない場合を遠隔局へ示す。UEは、WLAN受信のタイミングを制御するために、CTS-to-Selfメッセージを計時しうるので、LTE送信通信とオーバラップしない。すなわち、CTS-to-Selfメッセージは、WLAN受信を揃えうるので、LTEアップリンク期間のために割り当てられた時間スロットとオーバラップしない。CTS-to-Selfメッセージは、図12に示されるように、LTEアップリンク通信のガード時間前に、送信のためにレディになりうる。

#### 【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0075

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

#### 【0075】

図12は、本開示の1つの態様にしたがって無線通信を揃えることを示している。LTEアップリンク通信の期間は、時間1202中に示されている。CTS-to-Selfメッセージは、LTEアップリンク通信が開始するように設定されている時の、あるガード時間T<sub>g</sub>前である時間1204において、レディになりうる。CTS-to-Selfメッセージは、LTEアップリンク通信が開始されるように設定された時の、時間T<sub>s</sub>前に送信される。CTS-to-Selfメッセージが終了すると、WLANラジオが通信チャネルを再び開くまで、WLANチャネルは、ある期間、利用不可能となる。このよう

にして、WLAN受信通信は、LTE送信からの潜在的な干渉から保護されうる。ガード時間 $T_g$ 、 $T_s$ は、このメッセージが、LTEタイミングの観点から、適切な通信を可能とする十分なマージンを持って受信されることを保証する。